

笑顔

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年9月1日

2学期がはじまりました！

「今日から2学期が始まります。」と言ってもコロナ感染症は終息どころか、高知県において「まん延防止等重点措置」が適用となり、近隣の市でも感染者がここ数日確認されたことを受けて、昨年以上の感染防止対策として校内放送での始業式となりました。

今年も昨年引き続き、いつもの夏休みには元気が戻ってきませんが、学校には元気な子どもたちの姿が戻ってきました。また今年も夏休みの作品展の実施も予定していたため、両手に荷物を抱えて登校する子ども達の姿を見ることができました。



図書館前からの上り坂を重たそうにしながら歩いている児童が印象的でした。

ただここ数年ですが、日焼けした子ども達の姿を見ることが少なくなっていると感じます。日中に市街地を回ってみても子ども達の姿を見ることがほとんどありませんでした。暑い日を避けて過ごしやすいところで生活をしているのでしょうか。熱中症対策のことを考えると大切なことです。

さて今年の夏休みのみなさんの一番の思い出は何でしょうか。

休みに入って今日まで担任や学校には連絡がなかったのが、大きなけがや事故等もなくみんなが楽しく過ごせたことと思います。きっと長い休みにしかできない体験や経験をしてきたと思います。また私にも話してくれるとうれしいです。

私のこの夏の一番の出来事は、8月の長雨の後楽しみにしていた畑に行ってみると5月に植えた芋畑がイノシシにすべてダメにされていたことです。それほど大きくない畑ですが、見事に全滅していました。

周りは金網で囲っていて、昨年までは一度もなかったのですが、今年はない、なんと金網が食いちぎられて直径50センチほどの穴が空いていました。ペンチで切るのもやっとの針金がいとも簡単にちぎられているのを見て、イノシシの脅威を感じられずにはいられませんでした。

ちなみにとなりの畑も芋を植えています。電気柵を入れているので入ることはありません。前任の筒井校長先生も芋を植えているようですが、やっぱり電気柵を入れているので、周りの畑は荒らされているけど、筒井先生の畑はなんともないとのことでした。

来年のためにイノシシ対策を練らなければと心に決めた夏休みとなりました。

◆◆◆お願い◆◆◆

2学期が始まりましたが、先にも述べたようにコロナ感染症が拡大していることを受けて8月末

に安心メールでお知らせしましたが、9月20日まで健康観察記録を全校児童で実施することとしました。

つきましては本日より登校前の検温の実施と保護者の方のサインはできるだけ朝の時間帯に児童の様子を見ていただき、○だけでも構いませんので記入をしていただければ幸いです。それでもできない場合は児童が下校した後に確認をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

なお、デルタ株に変わったことにより児童の感染も多くなっていることや若い人でも重症化する場もあることから対策の必要性がより高くなりました。そのため次のようなことを記載しておりますのでご理解ご協力をお願いします。

- ・体温が37.5℃以上の場合は、登校を控えてください。
- ・「風邪症状」「強いだるさ」「咳」等の症状があるときは、記入してください。
- ・気になる場合は、登校を控え、医療機関等に相談してください。
- ・欠席または遅刻される場合は、小学校まで連絡をお願いします。

昨日感染が確認された人の半数以上が、感染経路不明なこともあり、学校においては、行事の見直し等も行っていきます。

お手紙を配付しましたが、学年毎に予定しておりました水泳参観日も中止としました。しかしながら、この夏休みに子ども達が頑張って取り組んだ学習や作品については体育館を会場として『作品展』を実施します。期日は来週の月曜日と火曜日の2日間だけですが、都合の付く方はぜひ子ども達の力作を見てあげてください。

なお注意事項を含めて詳細は、配付してありますお手紙で確認をお願いします。

さて2学期の授業日数は79日です。始業式は放送での話となりましたが、まずは『しっかりとコロナ対策をとること』このことが2学期元気に過ごすための最重点目標です。そしてしっかりと対策をとった上で、『4つの鍛える』の矢を放ちました。

まずは「あいさつ」。あいさつはコミュニケーションとしてとても大事にしてほしいこと。あいさつは、「おはよう」だけでなく、他にも色々あることをしっかりと考えて、使ってほしいです。

2つ目は「頭」。2学期は一番長い学期です。その分いろんなことを学ぶ機会も多くなります。毎日の勉強にしっかりと取り組み積み重ねてほしいと思います。

そして「体」を鍛えてほしいです。毎日元気に学校に来て、健康に過ごせる身体を作ってほしいです。

最後は、「心」を鍛えること。1学期には2人の友達を送り出しましたが、2学期には新しく2人の友達が転校してきました。応接室で話をしている2人の子ども達は、「プールの来て友達ができたけど、まだ少なくてさみしい。」と言っていました。私はすかさず、「清水小の子ども達は優しいからすぐにたくさんの友達ができるよ。」と伝えました。困っている友達がいたら、声をかけることのできる清水小の子ども達です。友達の悪い所を見つけて楽しむのではなく、いいところをたくさん見つけて楽しく過ごしてほしいと思います。

そして『鍛えたら磨く』と言うのが今年のテーマです。鍛えたならだしおしみなく、力を発揮して、新しい清水小を創っていきましょう。